

■ 体外衝撃波結石破砕術

体外衝撃波結石破砕術

尿管結石に対し、体外衝撃波を使用し砕石術を行います。体の外から衝撃波をあて、結石を細かくし排石を促す治療です。（治療後すぐに結石がなくなるわけではありません。）治療は鎮痛剤使用下で行います。治療に要する時間は約1時間です。合併症として血尿、疼痛、皮下出血、まれに腎出血が起こることがあります。重篤になる可能性もゼロではありません。腎出血が生じた場合には安静のため、しばらく入院していただきます。治療後には結石の破砕片が尿とともに排出されるため、それに伴う痛みの発作が起こることがあります。たいていは鎮痛剤で対処できますが、感染を伴った場合は38度以上の発熱が出現します。感染症が重症化すれば生命に関わるため、この場合はしばらく入院のうえ抗生剤の投与を行います。結石の数、大きさ、性質（硬さ）によっては、1回の砕石術にて完全に破砕できない場合もあります。その場合は残石に対し、再度ESWLを行うか、又は他の手段での砕石術を行う必要があります。砕石された結石は、できるだけ採取して成分分析を行います。

一覧 膀胱全摘:男性 膀胱全摘:女性 前立腺全摘 腹腔鏡手術 経尿道的膀胱腫瘍切除
生体腎移植:ドナー 生体腎移植:レシピエント 前立腺小線源療法 開腹腎摘出 開腹後腹膜リンパ節郭清
シヤント造設 経尿道的尿管結石 体外衝撃波結石破砕術 小児 検査